

妊娠・出産・子どもの健康の記録が
一冊にまとめられていること、

保護者が手元に

保管できる形態であることを

兼ね備えた母子手帳は、

日本発祥のシステムです。

戦後の復興さなかの

1948年に生まれました。

その50年目にあたる1998年に

「第1回母子手帳国際シンポジウム」が

東京で開催され、

その後インドネシア、タイ、ベトナム、

バングラデシュ、ケニア、カメルーンと

開催されてきました。

いまや母子手帳は30以上の国や地域に

活用が広まっています。

本会議は、世界で母と子どもの

健康を守る方々が集まり、

母子手帳の有用性と

さらなる発展に向けて

実践につながる議論を行います。

母子手帳 国際会議

第
10
回

2016.11.23(祝・水) - 25(金)

会場・プログラムの
詳細は裏面を
ご確認ください。

23日
会場

国連大学 ウタント国際会議場
10:00-17:00
日英同時通訳

24日 25日
会 場

JICA 地球ひろば
9:00-17:30 (25日は15:00まで)
英語のみ

参加者募集中 (11月2日締切)

専用webフォームからお申し込みいただくか、
Emailで事務局までお問い合わせください。

第10回 母子手帳国際会議 事務局

お問い合わせ先 : mchhb2016@hands.or.jp

お申し込みフォーム : www.hands.or.jp/mch/



主催 / 国際母子手帳委員会、大阪大学大学院 人間科学研究科

共催 / ユニセフ東京事務所、国連人口基金東京事務所、独立行政法人国際協力機構(JICA)、認定NPO法人 HANDS

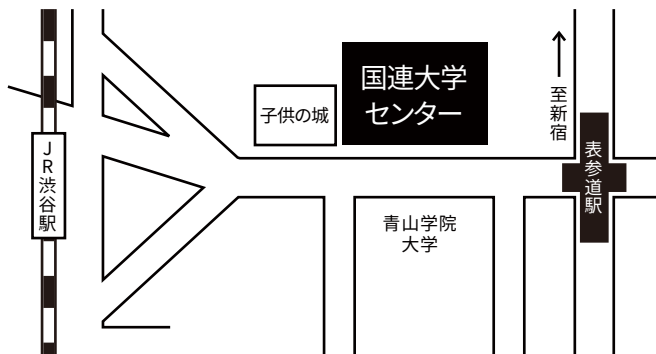
後援 / 内閣府、外務省、厚生労働省、日本医師会、日本WHO協会、日本助産師会、日本産婦人科学界、日本産婦人科医会、日本小児化学会国立研究開発法人国立国際医療研究センター (NCGM) ジョイセフ (JOICFP) 協力・協賛 / 第10回母子手帳国際会議支援委員会、サラヤ株式会社、ライオン株式会社、アサヒグループ食品株式会社

母子手帳国際会議 プログラム

第1日目

2016年11月23日(水)
※日英同時通訳あり

- 10:00-12:00 オープニングセレモニー
基調講演
- 12:00-13:00 昼食(各自でお取りください)
- 13:00-14:15 シンポジウム1
「日本の母子手帳 温故知新」
- 日本の母子保健施策
(厚生労働省母子保健課課長 神ノ田昌博)
 - 日本の助産師のあゆみ
(日本助産師会 常任理事 安達久美子)
 - 災害時の母子手帳
(岩手県遠野市健康福祉部長 菊池永菜)
 - デジタル母子手帳の開発
(日本遠隔医療学会会長 原量宏)
 - 低出生体重の赤ちゃんのためのハンドブックの開発
(ボコアボコ代表 小林さとみ)
- 14:15-14:30 休憩
- 14:30-15:45 シンポジウム2
「グローバルな母子継続ケアの取り組みと母子手帳」
- ガーナ/母子継続ケアのバリアと促進要因
(ダミーダミーダミーダミーダミー ダミーダミー)
 - モンゴル/エンパワメントツールとしての母子手帳
(国立成育医療研究センター 森臨太郎)
 - 母子継続ケアにおける提供側、需要側、行政の協働
(国立国際医療研究センター 明石秀親)
 - オランダ/欧州オランダからの新たな挑戦
(アムステルダム健康増進局 Dr. Anneke Kesler)
- 15:45-16:00 休憩
- 16:00-17:30 パネルディスカッション
「国際的な公共財としての母子手帳
～実践からの学びと国際展開(仮)」
登壇予定: WHO、UNICEF、UNFPA、IPPF
- 18:00-19:30 懇親会



住所：東京都渋谷区神宮前5丁目53-70

第2日目

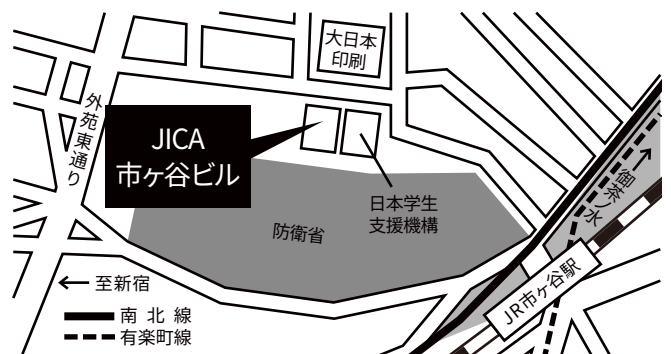
2016年11月24日(木)
(通訳なし英語のみ)

- 09:00-10:30 各国の母子手帳の取り組み(3会場)
- 発表予定: インドネシア、フィリピン、ベトナム、パレスチナ、ガーナ、ケニア、カメルーン、ブルンジ、アンゴラ、セネガル、ミャンマー、ウガンダ、アフガニスタン、タジキスタン
- 10:40-12:00 分科会に分かれて議論
- 分科会1: デジタル母子手帳
(To develop the Digital MCH handbook)
 - 分科会2: マイノリティと母子手帳
(To promote MCH handbooks for minorities)
 - 分科会3: 母子手帳プログラムの発展
(To ensure sustainable MCH handbooks)
- 12:00-13:00 昼食(各自でお取りください)
- 13:00-15:00 分科会(継続討議)
- 15:15-17:30 Plenary Session(3つの分科会からの発表と討議)

第3日目

2016年11月25日(金)
(通訳なし英語のみ)

- 09:00-10:30 シンポジウム3
「母子手帳の活用による科学的成果」
- 登壇予定: ベトナム、モンゴル、インドネシアなど
Mr. David Brown (Brown Consulting Group International, LLC)
- 10:30-10:45 休憩
- 10:45-12:00 ポスターセッション
- 12:00-13:00 昼食(各自でお取りください)
- 13:00-14:00 東京宣言の討議
- 14:00-15:00 閉会式(東京宣言の発表)



住所：東京都新宿区市谷本村町10-5